

近代戯曲から照らす現代中国と現代日本の演劇とは？

『人形の家』『人民の敵』など、近代演劇を代表するイプセン戯曲を現代中国に翻案／置き換えることで、現代の問題を抉り出した演出家・^{ウシiao ジヤン} 吳曉江。その翻案演出は現代中国演劇と中国人の近代的自我の形成にかかわるものとして注目され、国際的に高い評価を得ています。今回のセミナーでは吳曉江を迎えレクチャーとワークショップを開催。ワークショップではイプセン『人形の家』をテキストに用い、演出家と俳優によるチームでシーン創作に挑みます。現在の日本社会で近代演劇を捉え直すとき、作品を如何に受け止めどのように表現するのか、共に考え、体感するセミナーです。ぜひご参加下さい。

国際演劇交流セミナー2011 **中国特集**

中国国家話劇院演出家、吳曉江によるワークショップとレクチャーを開催！

演出家 × 俳優 のチームで挑む、
イプセン『人形の家』

参加チーム
募集！

in大阪 会場：スタジオ315

●レクチャー

2011年12月8日(木)

18:30～21:30

参加費：500円

●ワークショップ

2011年12月9日(金)～11日(日)

9日(金) 18:30～21:30

10日(土) 13:30～21:30

11日(日) 13:30～21:30

参加費：1チーム3000円

※見学は一日500円

in東京 会場：芸能花伝舎

●レクチャー

2011年12月15日(木)

18:30～21:30 S-1B

参加費：500円

●ワークショップ

2011年12月16日(金)～18日(日)

16日(金) 18:30～21:30 S-1B

17日(土) 13:30～21:30 1-4

18日(日) 13:30～21:30 1-4

参加費：1チーム3000円

※見学は一日500円

文化庁委託事業「平成23年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

制作：日本演出者協会 後援：駐日ノルウェー王国大使館



吳 曉江

wu xiao jiang ウシiao ジヤン

中国国家話劇院演出／中央戯劇学院講座教授／国家一级演出

1953年、上海に生まれる。黒龍江省龍鎮農場に於いて農場労働者として働いた後、77年ハルビン話劇院に於いて学び俳優となる。79年中央戯劇学院演出科入学。84年同学院演出科本科卒業、同年実験話劇院演出となる。現在、中国国家話劇院演出、中国戯劇家協会演出芸術委員会副主任。これまでシンガポール・ノルウェー・日本に於いて作品を上演、またスウェーデン・イギリス・アメリカ・韓国・などに赴き学術討論会・演劇フェスティバル等に参加。

主な演出作品『目の見えない三匹の鼠』『死者の訪問』『女人』『情系母親河』『陽光少年』『部屋の中の鼠』『無毛の犬』『狂った越年車』『周恩来』『離婚した、もう探さないで』『離婚しない』『日々』『夫妻夜話』『人民の敵(民衆の敵)』『人形の家』(中国、ノルウェイ共同制作2国語上演)『ヘッターガブラー』『臨時病室』『老婦故郷に帰る』『夜色に迷う』『骨髄を君に献じる』『牛玉儒』『親情ある柴宝国』『9路バス』『私は夢がある』マーティン・ルーサーキング』(中国国家話劇院・スタンフォード大学共同制作・中国語・英語による上演)『春』(中国炭鉱文工団)

その他10余部のテレビドラマ、1988年、1989年中央テレビの新年番組(英語版)の演出なども手掛けている。